



はくい (HAKUI)

平成25年4月号(2013)

市議会だより

No.57

設置目的

- ① 市民に市議会の活動状況、情報を提供し、
- ② 市民との意思疎通手段を多重化しながら、
- ③ 市民の要望を市政に反映させるとともに、
- ④ 分権時代に向けた市議会の活性化を図る。

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町A200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

CONTENTS

一般質問……………	3
各委員会報告……………	9
市民の声……………	10



能登有料道路無料化

第2回定例会の概要

平成25年第2回羽咋市議会定例会が3月1日から3月21日までの21日間開催された。提出された議案は、新年度一般会計予算91億8,300万円など35件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、平成25年度予算案については、平成24年度に引き続き「はくい再生プログラム」を推し進め、「安全安心で環境にやさしいまちづくり」「地域資源を活用した交流人口の拡大」「定住人口の確保と少子化対策の推進」「協働によるまちづくりと財政健全化の推進」の4分野を重点施策と定めた。また、国

の緊急経済対策に対応する形で「15か月予算」の考え方で予算編成し、防災・減災事業や地域活性化事業などについて積極的に取り組むとした。

3月11日・12日の質問日には11人が質問に立った。最終日の採決では、一般会計当初予算案など議案35件を原案通り可決、議員提出議案1件を可決、請願1件を不採択とした。市長追加提出議案2件を同意、市長提出諮問1件を答申した。また、議長、副議長の辞職に伴う選挙が行われ、高田甚哉議長、大塚幸男副議長が選出された。



第39代 議長 就任あいさつ

高田 甚哉 議長

今年は寒気が大変厳しく、そのなかで、卒業・入試・入学・就職などそれぞれの人生の節目に立ち会うことができました。

去る3月21日の第2回定例会におきまして、議員各位の御推挙をいただき、私、高田甚哉が栄えある第39代議長に就任いたしました。

地方議会では合理化が進み、当議会にあっては議員定数を14名と定め、常任委員会等の統廃合や情報公開など議会改革に努めており、今後とも市民の皆様にご信頼される議会を目指していく所存です。

市長と議会は車の両輪であり、市民の皆様が豊かさを実感できるよう頑張ります。どうか市民の皆様のご支援、御協力をお願い申し上げます。



第43代 副議長就任 あいさつ

大塚 幸男 副議長

副議長という要職を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。もとより、議員経験も浅く、複雑な議会運営については未知の世界ではありますが、議長をはじめ先輩各位のご指導を仰ぎながら、誠心誠意職務に精進したいと思います。

2年後の北陸新幹線金沢開業は地域浮上の絶好の機会であり、執行部と力を合わせ、羽咋市の限りない発展のために微力を尽くす所存であります。何卒よろしくお願い申し上げます。

議会発・はくい再生力アップ講演会を開催

■ 開催年月日 平成25年2月19日(火)

■ 開催場所 羽咋市役所4階401会議室

羽咋市議会初の取り組みとして、寺前秀一加賀市長を講師に招き、「議会発・はくい再生力アップ講演会～観光学博士が考える人流政策～」を開催しました。

当日は、予想を大きく上回る145人の方々が参加され、講演を熱心に拝聴されていました。

参加された方々の、市政に対する関心の高さを改めて感じることができ、市議会議員一同、今後このような講演等を実施していきたいと思つた次第です。

さて、講演会では、主に下記のことについて話されました。

1. 地域観光政策、人口・人流政策について
2. 他との違い、まねのできないものへ、自らアイデアを出していくことの重要性
3. 加賀市長からの提案
 - ・羽咋市の折口信夫とかほく市の西田幾太郎を連携させた誘客
 - ・千里浜なぎさドライブウェイの有料化

最後に、講演会について、たくさんのご感想・ご意見をいただきました。紙面の関係上、いくつか紹介させていただきます。



寺前加賀市長

【60代男性】

議会が主催ということで、まずは敬意を表したいです。よく議員は何もしない、市民も何もしないと聞きますが、今回のように市民の代表である議員がそれぞれの思いで羽咋再生のためプロジェクトを作り、一般市民の方々をまき込むしくみを作って、頑張ってもらえませんか。

汗を流したり、一緒に行動する市民はいます。何派何派などにこだわらず羽咋市の為、ぜひ立ち上がってください。大いに期待しています。

【40代女性】

伝統、歴史から都合の良い所をピックアップし、それを観光政策に活かすという考えがおもしろかった。能登半島全体で観光事業ができればいいと思います。

【30代男性】

議会が中心となって地域の問題を考えたり、解決の方法を考える講演会は非常によいと思います。是非今後もやっていただきたいです。



大塚 幸男 議員

北陸新幹線金沢開業の チャンスを活かせ！



2年後開業の北陸新幹線

千里浜海岸の再生と活用が第一

【質問】 千里浜海岸は羽咋市の代名詞であり、この財産を再生し活用することが何よりも先決である。砂像イベントやちびっこ駅伝は、絶好のPR効果があり、行政支援により魅力的な集客イベントになる。羽咋市の目指す観光の基本的戦略を市民が共有し、一体となって取り組むべき。

首都圏からの移住と若者の受け入れ態勢を整備すべきであり、大学のゼミ誘致や空き家活用の支援強化策を求める。

【答弁】 砂像は千里浜をPRする重要な手段であり、県外への出張砂像を展開してきており、今年は福島県を予定している。ちびっこ駅伝による千里浜の魅力発信とともに、のと里山海道を活用したイベントの開催を検討したい。大学ゼミの受け

入れや空き家の活用などに、よりきめ細かな支援について研究する。

道の駅整備計画の現状と対応

【質問】 平成24年度交流人口拡大の目玉事業として予算化された道の駅の実施設設計費が、経営母体の調整遅れから年度途中で全額減額された。

新年度も予算化されていないが、計画は頓挫したのか。

【答弁】 千里浜インター付近と農村公園を候補地に選定し、民間パートナーとの連携と協力を前提に模索してきたが、調整に今しばらく時間が必要。

その他の質問

- ①企業の農業参入への支援態勢と休耕田の活用
- ②観光アドバイザーや企業誘致推進員の活用



稲村 信成 議員

市民の目線で考えた 政策を！



羽咋市の住宅制度

定住促進住まいづくり奨励金事業を活発に！

【質問】 若者への定住策は魅力不足。市内若者が転出せず、親と同居を考える政策が必要。現行では親の敷地に市外業者が新築する子供3人世帯の補助金は最高で20万円。また新婚へのアパート家賃補助3,000円/月では羽咋へ移住への動機が弱い。

【答弁】 住まいづくり奨励金の平成24年度は、転入者の申請件数は17件、市内在住者の申請件数は33件で、一定の効果があり、当面は現制度で行く。提案の二世帯同居を希望する若者や子育て世帯に魅力ある制度となるよう検討していく。

市長等のボーナス50%カット取りやめとは！

【質問】 大震災復興と景気活性化の為に、国は公

務員給与を2年間7%削減する方針。この時期に特別職50%、管理職15%カットを取り止めるのは如何か。職員には感謝するがもう少しだけ我慢できないか。予算では人件費1億5,800万円削減だが、職員退職人数減少分を除くと3,400万円削減のみである。

【答弁】 平成18年度～平成24年度までの7年間で、人件費2億2,000万円を削減している。特別職給与も3,200万円削減。今後は国の方針を踏まえ削減を考える。

その他の質問

- ①文化会館工事遅延による「事故繰り越し」について



子どもにとって安全・安心 で楽しい学校を

櫻井 英一 議員

羽咋中学校問題

【質問】 羽咋中学校の問題で、保護者をはじめ多くの市民から心配と問題解決を願う声が上がっている。学校は、全ての子供にとって安全安心で楽しい場所でないといけない。今後の対応策を聞く。

【教育長答弁】 文化祭が終了した昨年11月ごろから学習規律の乱れが見られるようになった。その後、多くの方々のご協力により改善傾向にある。今後の対策として、迅速・的確に教育実践ができるよう、授業改善と毅然とした生徒指導の具体的指導方法を作成し、準備を進めている。また、積極的な学校公開、保護者や地域の方々によるサポート体制の強化、学校情報の発信などにより、学校・家庭・地域が一体となった子育て共同体づくりをさらに強化し、生徒が安心して勉学に励める環境を構築したい。



建設中の羽咋中学校

障がい者支援策

【質問】 昨年、障がい者自立支援法や児童福祉法等の一部が改正され、相談支援の充実・強化について質問した際、「今後、ソーシャルワーカー等、専門的資格を持った職員を配置した基幹相談支援センターの設置について検討していきたい」との答弁があったが、その後の対応を聞く。

【答弁】 残念ながら、現在、結論が出ていない状況である。今後は、近隣の町との連携や委託なども含め、最も効果的な基幹相談支援センターの設置方法を検討していきたいと考えている。

その他の質問

①農業の振興策について



健康に役立つ安全・安心を

高田 甚哉 議員

羽咋川河口と桜並木側道の補修を

【質問】 羽咋川桜並木通りや左側道はコンクリート破損や矢板腐食があり、右側道の羽咋川河口付近には凸凹と水だまりがあり、歩くには危険である。また、河口付近の水深は浅く、桜橋中央は深く逆勾配であるので、堆積土砂を取り除くサイクルを早くしてほしい。海岸の養浜には矢板の補修と堤防を沖に伸ばしてほしい。羽咋川河口付近から、海浜道路(のと里山海道)にインターを設置すれば観光客はもっと満喫するのではないかと。

【答弁】 羽咋川沿線は、桜も植樹され憩いの場として親しまれている。路面の修繕については、平成25年度には調査測量を行い安全安心に通行できるように計画している。羽咋川付近の海浜道路の乗り入れは、千里浜インターと柳田インター間が



羽咋川河口の矢板腐食

3kmと短く、設置をする場合は地元自治体負担となるため今の財政事情では出来ない。

国道249号道路の歩道改修を

【質問】 集団登下校の子供達に車との接触事故がニュースになっている。中学校付近は時間帯によっては混雑する場所である。安全安心のためにも歩道改修に取り組んでほしい。

【答弁】 警察と教育委員会及び県・市の関係機関が合同で通学路の点検を実施している。安全安心な観点からも白線になっている側道を、歩道として確保出来るよう県に働きかけたい。

その他の質問

①文化会館の改修工事の進捗と、市民の使い勝手の良い場所について



白田 秋也 議員

TPP 参加は羽咋と日本の農業をつぶすもの



苗づくり

自公安倍政権のTPP参加表明の見解を問う

【質問】 日米首脳会談の共同声明はすべての関税品目をゼロにすることと、非関税障壁の原則撤廃を確認したことだ。交渉の場で例外を主張するぐらいのことは認めるという程度にすぎないもの。交渉結果を何ら保証するものではない。昨年の選挙公約に反する。

【答弁】 さきの日米首脳会談では、関税撤廃に関し例外品目も認められる可能性もあると報道されている。しかし、具体的内容や水準が不透明であり、当面はこれらの動向を注視したい。

るんるんバス2台では限界だ

【質問】 この4月からの改正にはいろいろな意見がある。市はこれまでにたびたび改正を繰り返してき

たが、現行の車両2台体制では限界だ。増車するかまたは他車との組み合わせで根本的改善を図れ。

【答弁】 利用者の大方は外出手段のない高齢者の方だ。外出支援はまちなか活性化や高齢者のひきこもり防止に大変重要だ。現在の車両は古くなったので更新するが、ルート等の見直しでいろいろな御意見が出ると思う。それらを十分検証しながら今後の検討課題としたい。

その他の質問

- ①市民負担の軽減、福祉サービスの復活について
- ②原発について
- ③生活保護について
- ④国民健康保険について



中村 重幸 議員

若者定住策と安心して住める地域づくり！



長者川に架かる橋

南羽咋駅周辺で宅地造成を！

【質問】 南羽咋駅周辺はJR七尾線、国道159号、249号、無料化になる能登有料道路（のと里山海道）等マイカー通勤には交通の利便性が良く、また、海拔17mの高台で栗ノ保小学校、保育所も1,500m内の距離で若者に魅力がある地の利を生かして造成を考えるべきではないか。

【答弁】 南羽咋駅周辺は地の利については有利な条件がそろっていると認識している。宅地造成地の候補地としては、市が所有している土地及び遊休地を現段階で選定している。提案については非常に同感であるが財政的事情を考え、今後の検討課題としたい。

長者川に架かる橋の耐震化と拡幅を急げ！

【質問】 兵庫町の通学橋は架設後60年近く経過し、高齢橋であり危険性があるのではないかと。栗生町勘助前橋、新保町麻の尻橋、兵庫町山出橋は多くの地域の人に利用されている橋も劣化し、危険性もあり早急な修繕拡幅が必要ではないか。

【答弁】 長者川に架かる橋の耐震化拡幅は通学橋勘助前橋、麻の尻橋、山出橋は平成25年に策定する橋長15m未満の長寿命化修繕計画の中で重要度を考慮し時期等を判断する。

その他の質問

- ①長者川の改修について
- ②旧文化劇場の解体について



交流人口と若者定住策の支援を！

寺井 哲也 議員

道路網の整備を！

【質問】道路網の整備は、交流人口の拡大や企業誘致等に重要である。国道159号羽咋道路・415号羽咋バイパスについて事業が進んできているようだが、事業の進捗状況はどうか。また、市長には関係機関へ働きかけ、早期完成を目指して欲しい。

【答弁】国道159号羽咋道路については、酒井、本江地区のは場整備内での道路用地取得に着手する予定である。国道415号羽咋バイパスについては、昨年に引き続き福水町地内の用地取得及び建物移転補償など、飯山川のふせ替え工事を実施する予定である。完成予定については、今後の予算確保によるので、国や県に対して早期完成に向けて要望していきたい。



国道415号羽咋バイパス

分娩できる医療施設を！

【質問】現在市内には、分娩ができる医療施設がない。若者定住策を考える上で、分娩ができる医療施設が市内に必要なと思うがどうか。

【答弁】市内には、産婦人科が2か所あるが、外来だけで分娩施設がなく、24時間体制の確立が求められている。地域の出生数の推移や産婦人科医師、助産師の動向を見ながら、24時間安心して分娩や医療を受けられるよう、今後も郡市医師会との協力体制を確立しながら医療体制確保に努めたい。

その他の質問

- ①防災行政無線について
- ②子育て支援について



財政再建からはくい再生プログラムの推進

塩谷 久司 議員

一連の基盤づくりに市長の決意と今後の見通しは

【質問】財政再建緊急プログラムの推進により平成22年度実質単年度収支の黒字化が達成し、平成24年度決算も黒字化の予測。財政再建に一定の道筋を示した。平成24年度の企業誘致は5件で県内トップである。地域の活性化、定住促進及び防災基盤整備など一定の効果が表れているが、財政指数が依然として悪く、財政の健全化と相反する一連の基盤づくりに市長の決意と今後の見通しを問う。

【答弁】財政の健全化については財政再建に一定の目途がついたとはいえ、経常収支比率や実質公債費比率などの財政指標が依然として高い水準にあり、今後も財政の健全化に十分注意を要する状況であると認識している。一方で活力あるまちづ



はくい再生プログラム

くりでは、人口減少、少子高齢化が急速に進む中、若者が夢や希望を持ち、子育てができるまちづくり、女性やお年寄りが安心して暮らせるまちづくりが急務であると考えており、そのためには、働く場所、住む場所の確保が最も重要であり、雇用の拡充、定住促進を柱に「はくい再生」に向けたまちづくりに力を注ぐとともに、税収の確保を図りながら安全、安心なまちづくりや福祉施策の充実にも積極的に取り組んでいく。

その他の質問

- ①高齢者の買い物支援、見守り。
- ②微小粒子状物質「PM2.5」の監視と健康被害の対策



浅野 俊二 議員

新たな交通時代をむかえ 交流人口の拡大を！



危険な柴垣海岸

交流人口の拡大をはかれ！

【質問】 ①長者川の改修と同時に駅周辺のホテルや店舗等を買収し大胆な整備を急げ。②海浜道路(のと里山海道) 取付道路に道の駅や朝市の開設、砂像の常設と火葬場の移転を。③千里浜～気多大社～滝～柴垣～妙成寺を結ぶサイクリング道の整備と滝～柴垣間の釣り公園化。④柴垣海岸でのサーフィン全国大会の誘致を。⑤羽咋を代表する特産品の開発を急ぐため各団体に呼びかけ組織化を。⑥山田洋次監督の映画作成が柴垣であり、6月に「なんでも鑑定団」の収録や農業遺産の国際会議等、市長自身もPRを積極的にはかれ。⑦ユーフォリアの衛生管理の徹底を。

【答弁】 ①アーケードや照明器具の改修に着手、大規模整備を検討する。②玄関口にふさわしい環境や機能が重要で整備を検討。③地元や県と協議

し整備する。④誘致を進める。⑤各種団体と連携して特産品開発の支援をする。⑥市民の代表として積極的に参加する。今月世界農業遺産ツアーが神子原の棚田もルート化された機会を最大限利用し本市のPRをする。⑦管理を徹底する。

柴垣海岸の護岸工事を急げ

【質問】 昭和55年の低気圧で大きな被害を受けた。予算の関係で取り残された個所は人家近くまで波がくる。海拔も最も低い、減災からも工事を急げ。

【答弁】 町会や土地所有者の協力が必要。安全安心の実現のため対応する。

その他の質問

- ①表彰者の選考基準
- ②産廃不法投棄(千里浜海岸)について



新田 義昭 議員

活力ある羽咋再生へ 安全・安心なまちづくり



浸食の進む千里浜海岸

羽咋市の最重点要望項目3点について！

【質問】 ①国道159号羽咋道路の事業促進について、昨年度より、酒井町・本江町で大型ほ場整備が実施されており、路線の用地の購入や予算づけを聞く。

②国道415号羽咋バイパス(2期区間)中川町から神子原ダムまでの予算化と、(3期区間)富山県境までの道路改良について聞く。③千里浜海岸の羽咋川下流・南側の浸食が激しい。金沢港の土砂投入効果と、羽咋市独自で、土砂の運搬を行わないのか。

【答弁】 ①国道159号羽咋道路については、補正予算で、1億8,200万円の予算がつき、用地買収に入る。一日も早く工事の完成に向けて努力していく。②国道415号羽咋バイパスの用地買収は24年・25年度で完了する。県境までの急カーブや、側溝整備の工事を実施している。③千里浜海岸の海上搬入効果に

ついては調査中であり、羽咋市独自の土砂運搬はしないが、石川県は25年度も羽咋川河口の堆積土砂を千里浜海岸へ搬入し保全する。

若者等の定住促進について！

【質問】 少子化対策や若者等の定住促進を図るため、駅東地区で、市所有の遊休地を活用し宅地造成に予算がついた。造成と販売の時期を聞く。

【答弁】 測量や土質調査を実施した後に、区画割などの詳細な設計を行い、調査結果に基づき、できるだけ早く安価で、平成26年度の販売を目指す。

その他の質問

- ①邑知瀨の堆積土砂の除去を
- ②的場跨線橋下の交差点に信号機の設置を
- ③市道邑知152号線の道路の拡幅を



もっと 住みやすいまちづくりを！



デマンドタクシー

横山 高博 議員

デマンドタクシー(乗合タクシー)を導入せよ

【質問】 デマンドタクシーの導入はできないか。地域循環バスには限界がある。まずは路線バスを利用していただき、その上で、地域間格差や社会的弱者の方たちに補助するという考え方が望ましいのでは。

【答弁】 介護認定を受けている高齢者世帯には、通院時に利用できる福祉タクシーの助成も行っている。デマンドタクシーの導入については検討課題としたい。

高齢者買い物支援を充実せよ

【質問】 高齢者向けの買い物支援はどうか。地元スーパーに自宅前まで移動販売車に来てもらうとか、最近では、置き薬のように1食分ずつになった

パックのおかずを毎週使った食材だけ補充して簡単なお手伝いまでしてくれるというのものもある。市としてどのように考えているのか。

【答弁】 現在、介護認定を受けている高齢者には、ホームヘルパーによる買い物などの生活援助を行っている。介護認定を受けていなくても日常生活等への援助が必要な在宅の高齢者及び障害者のいる家庭等には、ホームヘルパーを派遣して家事援助を行っている。民間事業者においても近年宅配サービスの導入が進んでおり、成果を見守りたい。

その他の質問

- ①はくい再生に向けた取り組みについて
- ②防災対策などについて
- ③羽咋中学校関連について
- ④庁内改革について

平成25年 第2回定例会

3月議会

◇平成25年度の一般会計予算をはじめ全議案を可決

平成25年度一般会計予算等議案35件、請願1件、人事案件等3件を原案のとおり可決・承認。藤井敬一議長、白田秋也副議長から辞表の提出があり、選挙の結果、高田甚哉議長、大塚幸男副議長を選任、「羽咋すこやかセンター」条例を制定、羽咋市課制条例改正、羽咋市職員退職金手当条例一部改正等、全会一致または賛成多数で採択した。

◇議員提出議案の審査結果

議案番号	件名	議決年月日	結果
議員提出議案第1号	微小粒子状物質 (PM2.5) に係る総合的な対策の推進を求める意見書の提出について	H25.3.11	原案可決
議員提出議案第2号	羽咋市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	H25.3.21	原案可決

◇請願の審査結果

議案番号	件名	議決年月日	結果
請願第1号	TPP交渉に参加しないことを求める意見書提出に関する請願	H25.3.21	不採択

◇市長提出議案の審査結果

諮問番号	件名	議決年月日	結果
市長提出議案第38号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	H25.3.21	原案同意
市長提出議案第39号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	H25.3.21	原案同意

◇市長提出諮問の審査結果

諮問番号	件名	議決年月日	結果
市長提出諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	H25.3.21	適任

総務文教常任委員会報告

◎高田 甚哉 ○稲村 信成 寺井 哲也 横山 高博
塩谷 久司 藤井 敬一 中村 孝清

当委員会に付託された案件は、議案第3号「平成25年度羽咋市一般会計予算」中、当委員会所管分など議案10件であった。

なお、平成25年度の各会計予算については、連合審査会を開催し、審査をした。新年度予算を除く、残りの付託案件については、慎重に審査を行った結果、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決した。

審査過程での主な質疑及び要望は以下のとおり。

【質問】2014年北陸新幹線開業効果を高めるため、石川県で基金をつくり、その運用益による各種事業を展開するため、本市から1億2,000万円を貸し付けする予算が計上されている。この基金運用益を本市独自のPR活動に活用できないのか。また、本市には歴史的・文化的遺産が数多く存在する。これらを活かし、交流人口の拡大事業を考えているのか。

【答弁】県がつくる基金は、県全体でのPR活動及び情報発信のためのものであり、事業主体は県である。本市としては様々な場を活用し、本市のPRを実施していきたい。

【質問】補正予算において、西北台小学校のバリアフリー化事業が計上されているが、その理由は何か。また、他の小中学校のバリアフリー化は進んでいるのか。

【答弁】西北台小学校の玄関のバリアフリー化は未整備のため、計画に入れた。他の小中学校については、バリアフリーに整備されている。今後の耐震化事業及び改築事業を実施する際、必要な箇所については併せて整備していく方針である。

付託案件以外のその他として、羽咋中学校の課題及び義務教育における地域連携策について、防災計画における自主防災組織の果たす役割についてなどの質問、答弁がなされた。なお、羽咋中学校の課題に関する本市の教育委員会のあり方などについては、別途、会議を開催し、市長及び教育長と意見交換した。

お詫びと訂正

前1月号掲載の総務文教常任委員会報告(7ページ)の記載で誤りがありましたので、お詫び申し上げます。

文中左 (誤)請願第9号→(正)請願第10号

文中右 (誤)服部正治 →(正)服部敏治

産業厚生常任委員会報告

◎松生 喜代志 ○櫻井 英一 大塚 幸男 新田 義昭
中村 重幸 白田 秋也 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第3号平成25年度羽咋市一般会計予算中、当委員会所管分など議案28件、請願1件。これらの案件について連合審査会及び委員会を開催して説明を聴取し、慎重に審査を行った結果、議案第3号、議案第4号及び議案第6号については賛成多数をもって原案のとおり可決。残りの付託議案については全会一致をもって原案のとおり可決した。

請願第1号「TPP交渉に参加しないことを求める意見書提出に関する」請願については、賛成少数をもって不採択とした。

審査過程での主な質疑・要望等は以下のとおり。

【質問】地域生活支援事業における配食サービスの委託料において、今年度、約300万円予算を減額しているが、利用者は減っているのか。

【答弁】民間事業の利用者の増加や、ホームヘルパー支援の利用者拡大のためと思われる。

【質問】下水道事業の一般会計繰入金が多い。接続率を増加させることにより、圧縮することができるのか。

【答弁】下水道事業の繰入基準は国が決められている。平成23年度に企業会計化を行い、下水道単体の

収支が分かってきた状況で、現在の状態では赤字というのは明白である。赤字解消のためには接続率の向上も不可欠であるが、料金の値上げという選択肢も考えていく必要がある。今後2～3年の収支状況を見ながら方向を決めていきたい。

【質問】国の1次補正予算に伴う追加・増加補正について、今回挙げられた事業はどのような優先度で選択したのか。町会長連合会からの要望にある下水道事業の見直しなどは候補に挙げられなかったのか。

【答弁】優先度は、安全安心なまちづくりという観点に立ち積極的に活用していきたい。下水道の整備計画については、財政健全化の観点から今までどおり、合併浄化槽方式を進めていきたい。

付託案件以外のその他の事項では、るるんバスの利便性について、羽咋中学校問題について、駅東駐車場宅地造成の件について、ユーファリア千里浜の活用と衛生面についての質問及び要望等があった。

●●● 市民の声 ●●●

無関心ではられない!

C.S (千里浜町・40代・女性)

私は羽咋中学校に子どもを通わせている保護者です。羽咋中学校の問題に関心があり、傍聴しました。今後の羽咋中学校に不安を感じていますが、議員の質問に対しての教育長答弁に物足りなさを感じました。羽咋中学校の問題に懸念を抱いている市民は多いはずですが、もっと多くの方が議会を傍聴して、羽咋市・教育委員会の考えや対応を聞いて欲しかったです。

安心な街づくりを!

T.H (本町・60代・男性)

本市では、「安全・安心な街づくり」が大きなテーマの一つになっておりますが、「安全・安心」とは…と考えた時、安全・安心でなんだろうか?そこで安全・安心の反対語で見た場合、違った気色が見えた。安全→危険、安心→不安・心配。今までの我が街は「危険・不安」な街であったと言うのか?

イメージ的に、危険→災害・事故。不安→健康・生活、などが思いつき、不安の方が先に来る。

市議会だよりを見ると安全対策が主である様に思います。

私は、安心な街でありたいと思っております。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア 200 羽咋市議会事務局 ☎ 22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は6月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

@インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

@アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成25年3月議会の会議録は、6月上旬に閲覧できる予定です。

編 集 後 記

定例議会のある日は、ほとんど欠かさず傍聴して下さっていた的場町の永島清剛氏が過日、交通事故で逝去された。享年82歳。お顔が見えなくなったのは、本当に寂しい。永島氏の在りし日の元気なお姿を偲び、心からご冥福をお祈りする。

さて、石川県では3月31日から、能登有料道路(のと里山海道)の全線無料化が始まった。羽咋市においては、4月1日から子ども医療費の完全無料化・るんるんバスの無料化が始まった。こうした県・市の政策に期待を寄せながら、市議会として果たす役割、責任を自覚し、議員一丸となり、安全安心で活力あるまちづくりに邁進したい。

(新田 義昭)

議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	新田	義昭
副委員長	櫻井	英一
委員	寺井	哲也
	横山	高博
	藤井	敬一